

団体年金特別勘定(第1)特約:ファンド概要

資産	口名	運用内容	運用戦略
—	総合口A	バランス型運用	資産ごとにアクティブ運用を行い、超過収益獲得を目指します。
—	総合口M	マルチアセット型運用	分散投資の追求と定量分析の活用による機動的な資産配分により、リスクを抑えつつリターンの向上を目指します。
—	総合口S	リスク抑制 バランス型運用	定量分析の活用により価格変動リスクを抑制し、中長期的に安定した運用を目指します。
国内債券	円貨建公社債口A	割安銘柄投資	トップダウン分析・ボトムアップ分析を併用し、イールドカーブ上の割安・割高を判断するイールド選択とクレジット選択の両面から超過収益の獲得を目指します。
	円貨建公社債口P	パッシブ運用	層化抽出法によるパッシブ運用を行い、ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
国内株式	円貨建株式口A	クオンツバリュウ運用	ベンチマークとの連動性を維持しながら、主にバリュウ、益回り等の最大8つのファクターにティルトする戦略により超過収益獲得を目指します。
	円貨建株式口B	中小型株投資	中小型株特化のアクティブ運用を行います。主に業績変化率、利益成長率の観点から、個別に銘柄選択を行います。
	円貨建株式口E	ESG運用	企業のESGへの取組みを評価（ESG評価）し、企業価値向上が期待される銘柄を選定します。
	円貨建株式口P	パッシブ運用	最適化法によるパッシブ運用を行い、ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
	円貨建株式口V	バリュウ運用	フロー、ストック両面からのバリュエーション指標に着目し、個別銘柄へのリサーチに基づくバリュウ（割安）運用を行います。
外国債券	外貨建公社債口A	グローバル運用	ベンチマークとの連動性を維持しつつ、定量分析及びマクロ分析をベースに超過収益獲得を目指します。
	外貨建公社債口B	グローバル運用 （為替ヘッジあり）	ベンチマークとの連動性を維持しつつ、定量分析及びマクロ分析をベースに超過収益獲得を目指します。なお、為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクをほぼ排除します。
外国株式	外貨建株式口A	グローバル運用	リサーチに基づいてグローバル型のアクティブ運用を行います。
短期資金	短期資金口A	短期資金運用	コールローンを中心に、短期運用を行います。

※口によっては受託制限を設けており、受託できない場合もありますので詳しくはTEL:03-6664-8650 E-mail:nenkin@am.sumitomolife.co.jpまでお問い合わせください。